



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

News Letter

2016年5月
VOL.4

正会員数:52人 7団体
賛助会員:247人 40団体
(H27.9.30現在)

発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局
TEL & FAX 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

E-mail office@pandahouse.org
HP <http://pandahouse.org>
blog <http://pandahouse.sblo.jp>
facebook <https://facebook.com/npo.panda.house>



理事長あいさつ

理事長 山本 佳子

闘病中のお子さんご家族のための「病院近くの我が家」であるパンダハウスは、20年目を迎えました。多くの方々のご寄附で建設させていただき、運営してまいりました。満室状態が続いておりましたので増築を志して3年、着工も間もなくとなり、年度末には完成する運びです。

ご協力いただきました方々には、心より御礼申し上げます。

福島の地は東日本大震災を経験しています。5年が過ぎましたが突然にやってきた災害は、私たちの心や生活に大きな影響を与えました。健やかに成長なさっているお子さんの病気も、突然やってきて、そのご家族の生活を変えてしまいます。被災体験を通し、闘病中の方々の大変さに、僅かながらも触れた気がいたしました。

昨年は、そうした震災でご苦労された方々にもたくさんのご支援をいただきました。仮設住宅にお住いの富岡町や川内村の方々、一足先に川内村にお戻りになった方々などに、入院中のお子さんたちのためのクリスマスプレゼントをつくっていただいたのです。ふるさと・きずな基金をいただいていたのですが、「震災後の支援のお返しに」と、言っていただき、避難された方々に私どもが励まされる思いでした。

また、最近パンダのことを知っているとお声掛けいただくこともあり、たいへんありがたいのですが、それよりも知っていただきたいのは、闘病中の子どもたちのことです。こうしている間も命と向かい合っている子どもたちがいます。昨年のうつくしま基金をいただいていたシンポジウム&コンサー



トでは喜多方・郡山・いわきの各箇所にも子どもの医療の実際や当事者の方々のお声を届けることが出来ました。また、ご協力いただく方々も井上仁一郎さん、より子さんに加え、音速ラインさんやいわき明星大学吹奏楽団と、輪も広がり、安らぎと励ましの音楽で一同を癒やしていただきました。

今後も引き続き、県内全域での皆様との出会いを楽しみにしております。

当会は皆様のご支援のおかげで、利用者さんのためのハウスを運営し、ここまでできました。皆様のお志を利用者に届けるための活動に、ぜひ多くの方々と手を携えて、今後も途切れることなく続けていきたいと思っています。

増築が実現すれば、利用者さんにとって、満室が続く予約がとりにくかった状況からは脱却いたしますが、倍以上になるハウスに息を吹きかけ、あたたかいハウスにするためには、多くの皆様のご協力が必要です。共に手を携えて歩んでいただける方、いつでもお声掛けください。できることをできる時にできるだけでけこうです。

子どもたちの「生きる」という思いをしっかりと支えられる社会でありたいと思っています。当会はそのために、闘病中の環境の質を高められるように、ご家族や皆様と共に歩み続けたいと思います。

変わらぬご支援の程、何とぞよろしく願いいたします。



増築完成予定図





我が家のような「パンダハウス」

公立大学法人 福島県立医科大学
小児科学講座
主任教授 細矢 光亮

福島県立医科大学附属病院の4階西病棟（小児病棟）には、長期の治療を必要とするこどもたちが入院しています。入院治療は、病との闘いです。かつては、治療が最優先で、その他は二の次とされていました。しかし、命にかかわる病との闘いであればなおさら、暮らしの中に安らぎや幸せを感じる「一日」を送ることが大切です。こどもたちが、治療に専念しながらも、なおかつ日常生活を送ることが、こどもたちの心身の発育・発達には重要なのです。

昭和56年4月、福島県立医科大学附属病院に福島県立須賀川養護学校の「医大分室」が設置され、昭和62年4月には「医大分校」に昇格しました。入院中のこどもたちも、健常な児童生徒と同じように、教育を受ける権利があります。福島医大病院には、国内でも一二の早い時期に教育施設が置かれました。現在も、医療や生活上の管理が必要なこどもたちに対して、情熱を持った先生方により、必要な配慮

を行いながらの教育が施されています。その方針は、「児童生徒が主体的に学び、自己の課題を解決し、豊かに表現できる力を身につける」です。入院を強いられているこどもだからこそ、学校生活が必要です。

学校での生活と同様、あるいはそれ以上に大切なのが、こどもたちが両親や兄弟などと一緒に過ごす時間です。米国では、大きな小児病院のそばに、遠方から通院する患者さんと家族のための宿泊施設「マクドナルドハウス」があると聞いていました。日本にも、入院しているこどもとその家族と一緒に過ごせる施設があればいいと思っていました。

平成9年10月、日本初の「マクドナルドハウス」が世田谷にできるよりも早く、可愛い「パンダハウス」が福島市にオープンしました。以来19年、延べ25,000人以上の方々が利用しています。利用希望の増加に伴い、増改築の準備が進められています。これに対し、たくさんの方々から、多くの寄付金が寄せられていると聞いています。皆様方の善意に支えられて施設が拡張整備され、スタッフの支援がより一層充実して、「パンダハウス」が入院中のこどもたちとご家族が心地よく過ごせる「我が家」になりますことを願っています。

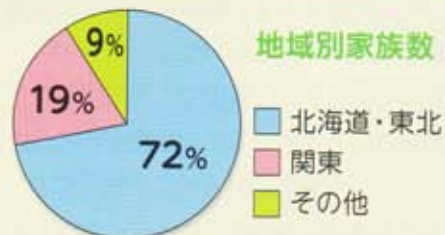
平成27年度パンダハウス稼働状況

オープンから現在までの利用者数
(H9.10.10~H27.9.30)

家族数	4,432家族
延べ人数	25,885人

平成27年度利用者数
(H26.10.1~H27.9.30)

家族数	396家族
延べ人数	1,989人
稼働率	103%



利用者の声

2月末に娘の手術の時、初めて利用させて頂きその快適さに大変感激しました。今回2度目の利用です。まるで我が家に帰ったようにくつろぐ事が出来まして感謝、感謝です。ありがとうございました。

二年前に上の子が入院した時に利用させていただきました。今度は下の子が白血病になり、長期入院が必要と言われました。

毎日、子供に付き添い、一緒にごはんを食べたりしているだけですが、肩や背中がこり疲れます。でもパンダハウスに来ますと自分の家のような感じで、くつろげ夜もぐっすり眠る事ができ、疲れが取れた次の日子供の所へ向かう事ができます。本当にありがたい、感謝の思いでいっぱいです。

今回は、福島のりんごをおいしくいただきました。ごちそうさまでした。マッサージ機も利用させていただき、ありがとうございました。



助成金報告

うつくしま基金 病気の子どもとその家族を知り
共に支え合うやさしい福島にしよう!!

シンポジウム&コンサート



ふるさと・きずな維持・再生支援事業 共に触れ合い
福島で生きる ~手作り品から生まれるきずな~

川内村・富岡町の方々とクリスマスプレゼント作りを行いました。



H28年度活動紹介(予定)

- クリスマスプレゼント作成 : 7月~12月
- 花植え : 5月・11月
- バザー(会津医療センター) : 6月・10月
- バザー(福島医大病院) : 8月・12月
- バザー(いわき鹿島ショッピングセンターエプリア) : 9月・3月
- リレーフォーライフ参加(とうほう・みんなのスタジアム) : 9月10・11日
- JHHHネットワーク会議参加 : 8月6・7日
- イオン黄色いレシートキャンペーン : 毎月11日
- ボランティア説明会 : 7月10日
- 健康フェスタ : 8月7日
- 第6回通常総会 : 11月12日
- 音速ラインコンサート : 11月26日

誰にでもできるボランティア

ボランティア 加藤 博、好子

人は、健康で日常生活を過ごすのが当たり前と感じられる、私達夫婦も平凡に電車のレールのように平行で何の変化もなく健康な日々を過ごしております。

私達夫婦がパンダハウスとの出会いは知人が県立医大附属病院に入院し、お見舞いに行った時、看護詰所の窓口のパンダハウスのパンフレットを見てから関心をもちました。

その後、パンダハウスのボランティア説明会に参加させて頂き、参加者は若人が多く、私達、高齢者にもボランティアが出来るのか考えながら帰宅しました。

再び、知人をお見舞いに行った帰り、パンダハウスが医大の近くにあるので訪れ、スタッフから、施設の内容やボランティア活動の説明を受け、パンダハウスを利用することにより、闘病中の方やご家族が精神的な負担から解放され癒されることを知り、私達夫婦は賛助会員になり、週に一度のボランティア活動を行うことになりました。

お部屋の掃除、子ども達が遊ぶ玩具の整理、絵本の整

理、雑草防除、花壇の手入れ、クリスマスのプレゼント作り、ゴム版画によるクリスマスカード作り等、ボランティアの仲間と楽しくお手伝いしております。又、年数回のバザーのお手伝いなど、私達高齢者でも気軽な気持ちでお手伝い出来ることを実感しております。

私達は、健康が「あたりまえ」と思って日常生活をしておりましたが、家族と離ればなれになり難病と闘っている家族の声を耳にした時、私達高齢者も雑草のように強くパンダハウスで元気にボランティアできる有り難さを幸せと思いました。

又、ボランティアの仲間に入れていただき沢山の方々とのお会いを大切にしながら、今後も利用者さんが我が家と同じ家庭環境で利用されることを念じながら、スタッフの方々のご指導を頂き、カスミ草のように小さく誰にでも出来るボランティアを仲間と交流しながら楽しく継続したいと思っております。



賛助会員加入と寄附金のお願い

- 賛助会員年会費 個人(1口) 3,000円(1口以上)
団体(1口)10,000円(1口以上)
- 年会費・寄附金振込先
郵便振替口座番号:02200-9-110330
郵便振替口座名義:認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会
- ※他金融機関から、郵便振替の場合
店名 二二九(ニニキュウ)店 当座預金 0110330

ボランティア募集中!

- ボランティア体験:毎月第1土曜日
- ボランティア内容:お掃除、庭の手入れ、バザー
クリスマスプレゼント作り、パンダバッジ作り



ハウスのそうじ



花壇の手入れ



パンダバッジ

お問い合わせ TEL・FAX 024-548-3711
事務局またはメール E-mail office@pandahouse.org

27年度活動紹介



匠大バザー



会津医療センターバザー



総会



いわきエブリア



版画教室



コラッセ [パンダハウスを知ってください]

スタッフ紹介

理事長	山本 佳子		
理事	菊田 洋子	安齋 豊子	伊勢谷 愛理
	石井 佳世子	伊藤 五十子	古関 令子
	鈴木 幸恵	鈴木 正子	清野 博子
	高橋 容子	千葉 篤子	古溝 陽子
監事	齋藤 敏昭	陽田 秀夫	
アドバイザー	梅津 茂巳	菊田 敦	佐藤 崇
	芳賀 裕	目黒 文子	横田 照彦
ハウスマネージャー	津田 郁子	萩原 智恵子	

募金箱設置のお願い

募金箱を設置していただける所を
募集しております



募金箱設置箇所 (敬称略・50音順)

会津医療センター / あずま通りクリニック / あとりえ悠然 / 南アメリカン美容院 (2 個) / ありがクリニック / あきもと整形外科クリニック / 秋山山建材 / 南アクセサリーワタナベ / うつわの岡崎 / 南安藤自動車整備工場 / 株式会社美実 / 株式会社伊藤製作所 / 一般社団法人ライフク実行委員会 / 石井接骨院 / 医療法人内科消化器科みつはし医院 / 井上 慎一 / 株式会社エディングエルティ / 氏家 洋子 / 南エイシンうすい店 / 南エイシン陣屋店 / 株式会社エフコム (2 個) / au ショップ吉倉 / エクスターメディカル株式会社 / 社会福祉法人桜寿会 / おひさま子供クリニック / 株式会社メディカルファクトリーオリーブ薬局 / カーテン館タケダ南 / 風の谷 / 南絵工堂 (2 個) / 社団医療法人かしま病院 / 学校法人有朋学園 / 福島片岡鶴太郎美術庭園 / かまた鍼灸整骨院 / 上松川診療所 / カントリーファームひらの工房 / 株式会社栄水産 / 絹の里 / キワニスクラブ (2 個) / 公立小野地方総合病院 / GUITAR SHOP Nevermind / ケアタウンひまわり (2 個) / コゼット / 株式会社東不動産 / 金剛院 / 株式会社コンピューターシステムハウス / Co-ba KORIYAMA / ザ・ホテル大亀 / サイトウ洋食店 / 齋藤 一子 / 松北町会 / Ju 福島 (57 個) / 佐藤 崇 / 税理士法人三都会計事務所 / 志緒里 (2 個) / 常泉寺 / 常磐病院 / 睡眠館雅貴 / 鈴木 牧子 / ストライカーメドテック株式会社 / スエゾーカフェ / 精華苑 / 株式会社第一印刷 / たかば接骨院 / 株式会社鶴ヶ城会館 / 東栄物産株式会社 / 東部ガス株式会社 / 東京マイカー販売株式会社 (3 個) / 同仁社 (3 個) / 医療法人永井歯科医院 / 株式会社中合 / なかゆくい / 西田 雪佳 / 株式会社サティオ福島 / 日本ストライカー株式会社 (2 個) / 福島医大病院 NICU 病棟 / 花の店フローラ / harima 美容室 / 日野屋楽器店 / 株式会社ハイブリッジモータース (2 個) / 福島県住宅生活協同組合 / 南福島地域開発 / 福島県庁消費組合 / 福島コミュニティ放送株式会社 (FM ポコ) / 福島水産物商業協同組合 / 福島医療専門学校 / 株式会社はるプランニング / 富士ゼロックス福島株式会社 (2 個) / ヘアサロンさんかく / 南ベル / ホテル辰巳屋 / まちづくりコミュニティゼネネ / 本多設備工業株式会社 / 政井 香代子 / まんてん堂こどもクリニック / 都小児科 / 南会津町社会福祉協議会 / 医療法人むかわクリニック / ベコカップ実行委員会 / メイプル接骨院 / 盛岡屋分店 / 山家整形外科 / 株式会社ユアテック福島支社 / よしなり / 株式会社ら・さんたランド / リトルウィングレディーズアパレル / れがーろ SHOES&FASHIONSALON Regalo / ロアフォルジェ司法書士事務所 / ロータリークラブ (福島銀行) / 株式会社メディカルファクトリーわかば薬局 / 渡辺健寿法律事務所 / 渡部 優 / 株式会社渡清

(H28.5 現在)

皆様のご協力ありがとうございました

収支報告 (H26.10.1 ~ H27.9.30)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I. 収入の部		II. 支出の部	
会費収入	2,145,000	事業費	9,632,689
寄附金収入	129,592,846	管理費	1,389,892
事業収入(ハウス利用料・バザーなど)	1,800,023	積立基金	
助成金収入(補助金・助成金)	3,597,000	(ハウス増改築・	126,421,841
その他収入	20,201	施設整備等・給与)	
収入合計	137,155,070	支出合計	137,444,422
		前期繰越収支差額	4,643,619
		当期収支差額	△289,352
		次期繰越収支差額	4,354,267

編集後記

多くの皆さまのお力をお借りして、増築に向けて具体的な計画が進んでいます。

来春には大きく成長したハウスになります。充実したハウスになる様がんばってまいります。編集担当:石井 佳世子